

プレスリリース

ニスモ、「Nissan GT-R50 by Italdesign」用の
高性能エンジンとトランスアクスルを開発



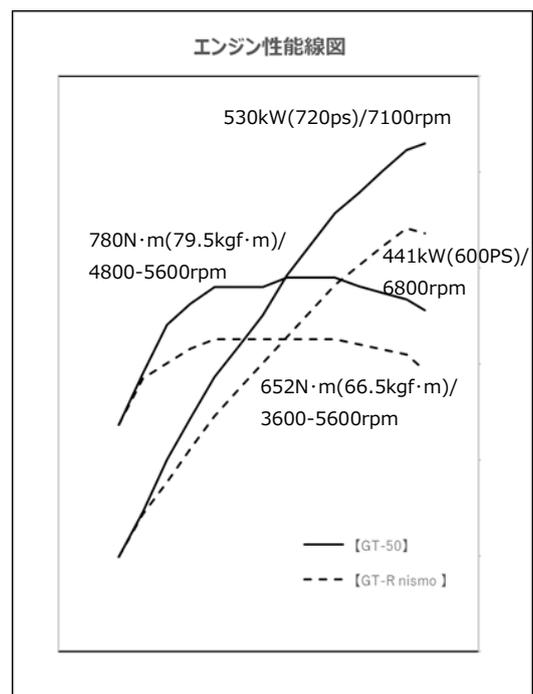
ニッサン・モータースポーツ・インターナショナル株式会社（本社：横浜市鶴見区 社長：片桐隆夫 以下ニスモ）は、高性能なエンジンとトランスアクスルを開発し、日産自動車（株）がイタルデザインと共同開発した「Nissan GT-R50 by Italdesign」の限定市販モデルに提供します。

「Nissan GT-R50 by Italdesign」に求められる高い性能と信頼性および排気規制を達成するため、ニスモは日産テクニカルセンター（NTC）と協力し、開発を行いました。エンジンは、FIA GT3 仕様の NISSAN GT-R NISMO GT3 に搭載されているレース仕様の VR38 エンジン及び他のレースエンジン開発のノウハウを活用して、ターボチャージャー、ピストン、コンロッド、クランクシャフト、フューエルインジェクター、カムシャフト、触媒など、オリジナルに対して約 12 %の部品を新規に開発。また、トランスアクスルは、ニスモの長年にわたるロードカー向けパフォーマンスパーツ開発の知見も駆使し、高強度材の採用、表面処理の変更等を行い、780N・m のトルクに耐える強度を確保しました。

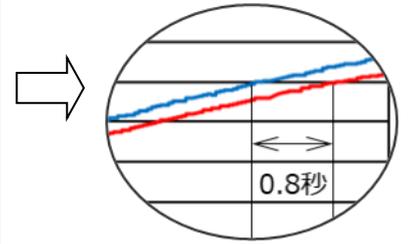
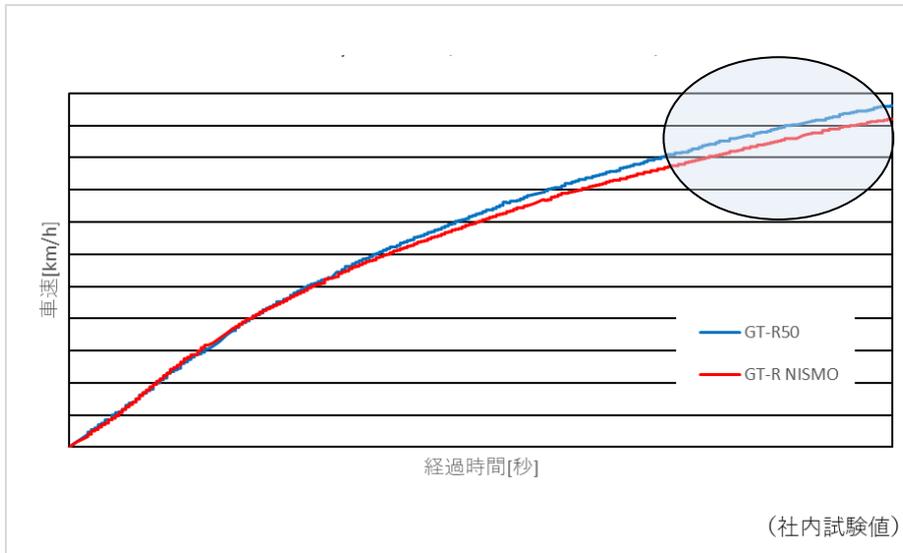
エンジンとトランスアクスルの耐久信頼性は NISSAN GT-R NISMO が 2013 年にニルブルクリンク（ドイツ）で記録した、当時の量産車最速タイムである 7 分 8 秒 679 のモードサイクルを 4 輪シャシーダイナモ上で再現した台上シミュレーション耐久（加速耐久）を行い、十分な耐久信頼性を確認しています。日産のモータースポーツ活動を担うニスモならではの、レースカーとロードカーの開発技術を用いて、720 PS という高出力と欧州で要求される厳しい排出ガス規制である「ユーロ 6」を両立させました。

こうして完成したニスモ開発の 720 PS のパワートレインは、社内テストにおいて 0-200 km/h 加速ではノーマルの GT-R NISMO 比で 0.8 秒（7%）短縮を達成しています。

ニスモ開発の高性能エンジンとトランスアクスルが搭載された「Nissan GT-R50 by Italdesign」の出荷は、2021 年半ばより開始されます。



【0-200 km/h 加速（ローンチモード）】



【動画：シミュレーション実験風景】



以上